

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1%） C：基準時の数値を下回っている

project1 ふるさと一番！定住促進プロジェクト

数値目標（指標）			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R7年度)					
生産年齢人口割合	49.81%	維持					維持
			49.08%	47.61			
			B	C			

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業のPRや企業見学会の開催、新規就農者への補助金交付などの支援策を講じているが、成果が現れるまでには時間を要する。 ・若者が活躍する機会の創出により地元定着に一定程度寄与する一方、地域を担う後継者の育成が課題となっている。 ・流雪溝整備やおぼくの運行など生活インフラの整備は順調に進んでいることから、暮らしやすさの創造に繋がっている。 <p>⇒各施策は一定の成果を上げているものの、成果が出るまでに時間を要する施策もあり、令和4年度の「生産年齢人口」は基準値より減少している。</p> <p>⇒地元企業のPRやキャリア教育など地元就労につながる事業を継続しながら、実態に合わない制度は見直しを行い、より一層の地元就労促進、若者の地元定着を推進していく。</p>
----	--

地元就労の促進、雇用拡大

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1 大学生などのインターンシップ受入人数	商工観光課	0人	3人/年					3人/年
				0人/年	0人/年			
				B	B			

総括	本年度の取組み状況	<p>【農業】新規就農者等を対象に、経営を継承発展させる取組みや規模拡大、条件整備に係る費用に対し補助金を交付。R4実績:23件。また、親元就農者に激励金を交付。R4実績:5件</p> <p>【企業】企業ガイドブックを作成し、企業セミナー開催時や高校3年生のいる世帯、県内高校などに配付。市内中核企業3社への山形大学工学部1年生の企業見学を実施。</p> <p>【地元就労】市内の事業所に就職した人に、就職準備金として激励金を交付。R4実績:12件</p>
	取組みの効果	<p>【農業】就農にあたっての収入が確保され、新規就農者の農業経営安定が図られた。また農業者の定着につながった。</p> <p>【企業】就職を控えた高校生等に、市内企業を知ってもらうことに繋がった。市内中核企業と山形大学工学部との繋がりが強化につながった。</p> <p>【地元就労】就職準備に要した費用を軽減させたことで、地元就職の促進が図られた。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【農業】〈課題〉夏すいか生産量日本一の維持、農業の省力化や生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農者の現状と課題を把握しながら、補助金制度を実態に合った形に見直していく。 ・各種補助金交付を継続し、スマート農業技術等を活用した省力化により生産性向上を目指す。 <p>【企業】〈課題〉幅広い世代で地元企業に対する理解促進が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を推進するとともに、企業ガイドブックの配付対象を小中学生にも拡大する。 ・山形大学工学部1年生の企業見学を継続し、インターンシップを通じた就業体験の機会を創出する。 <p>【地元就労】支援対象の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外から市内に就職した人に対しても支援できるよう制度を見直すことで、市内就労者の増加を目指す。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

ふるさと愛の醸成と若者の活躍

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
2	地元企業との交流	教育指導室	0回	各学校1回/年	目標					各学校1回/年
					実績	各学校1回/年	各学校2回/年			
					進捗状況	A	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【親子ふれあい広場】くぼたまさと工作ショーを開催。参加者111人。</p> <p>【若者の活躍】ウィンタースポーツイベントのクールモンキーカップを開催。</p> <p>【教育】尾花沢中2年生と福原中1年生の生徒を対象に、地元企業6社から話を聞いたり、仕事の一部を体験できるwakuwaku-workを開催した。</p>
	取組みの効果	<p>【親子ふれあい広場】親子で参加できる行事を企画したことにより、世代を超えた学びの充実を図ることができた。</p> <p>【若者の活躍】花笠高原スキー場を中心にウィンタースポーツイベントを開催することにより地域振興に貢献。また青年層が自ら企画することで地域のリーダー育成にもつながった。</p> <p>【教育】地元企業への理解が進み、魅力を発見できたことで、将来の仕事への関心、意欲が高められた。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【親子ふれあい広場】事業内容の精査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後児童が減少していく中において、内容や対象者の範囲をどうすべきか事業の在り方を再検討する必要がある。 <p>【若者の活躍】【課題】次代の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体の青年層が壮年層になっており後継者育成が必要。若年層が各種実行委員会のメンバーになってもらえるよう働きかけ、若手リーダーと地域の担い手を育成する。 <p>【教育】〈課題〉地域貢献、ふるさと愛を切れ目なく育むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校のキャリア教育を継続するとともに、おもたか奨学金制度を広く周知する。

暮らしやすさの創造

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	公共交通空白地帯	市民税務課	4地区	0地区	目標					0地区
					実績	3地区	3地区			
					進捗状況	A	A			

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	流雪溝整備率	建設課	74%	80%	目標					80%
					実績	74.90%	74.90%			
					進捗状況	A	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【公共交通】路線バス7路線の運行やおばくる事業を実施。おばくる利用件数1,338件。大石田駅通学線利用者25,772人。</p> <p>【克雪対策】和合・田沢地区、名木沢地区など各地区の流雪溝整備工事を実施。和合地区は完了。名木沢地区は令和6年度まで実施予定。また、水利権確保に向けた申請手続きの実施。</p> <p>【観光拠点】徳良湖オートキャンプ場の火災報知設備の設置や自然研修センターのWi-Fi環境構築などにより、徳良湖周辺施設の機能強化を実施。</p> <p>【都市計画】まちなか空き家再生事業により1件の寄付を受けた。</p> <p>【住宅】克雪住宅や新築住宅の取得支援など、ふるさと暮らし応援事業助成金の交付。家庭用除雪機購入支援110件。</p>
	取組みの効果	<p>【公共交通】おばくる・大石田駅通学線の利用者数は確実に増加しており、高齢者及び高校生の移動手段として定着した。交通手段の安定的な確保につながった。</p> <p>【克雪対策】地域住民の除雪作業負担軽減が図られ、暮らしやすいまちづくりと市の克雪体制強化につながった。</p> <p>【観光拠点】利用者が安全に施設を使用し、安心して快適な憩いの場の創出につながった。</p> <p>【都市計画】不良住宅解体による安全安心な居住環境の整備と空き家跡地の利活用による市街地の活性化が図られた。</p> <p>【住宅】市民及び移住者に対し所要の助成を行い、快適な生活環境づくりに役立ち、定住促進につながった。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【公共交通】〈課題〉本市の実態に即した最適な公共交通を構築し、生活交通ネットワークを確保すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス一便あたりの利用者が1.65人と輸送効率が悪くなっており、利用者の需要に合わせた再編が必要である。交通需要を分析しながら、最適な交通ネットワークの確保に取り組む。 <p>【克雪対策】〈課題〉更なる克雪体制の強化と水利権の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の流雪溝整備工事を継続するとともに、流雪溝の水を確保するため水利権獲得に向けた申請手続きを進める。 <p>【観光拠点】〈課題〉施設の老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕費用が増加傾向にある。徳良湖周辺整備マスタープランに従って優先順位を付けながら適切に施設整備を実施する。 <p>【都市整備】〈課題〉学園構想に合わせた用途指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能誘導区域の設定と併せて学校建設用地の用途指定を行い、本市の実態にあった都市整備を進める。 <p>【住宅】〈課題〉定住促進のための快適な生活環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅地取得や民間賃貸住宅の家賃補助など補助金交付を継続する。また制度周知のための広報活動を強化する。

委員からの意見

- ・徳良湖周辺整備マスタープランの優先順位を付けた施設整備や、定住環境の整備を押し進めてほしい。
- ・KPIは基準値を上回っているものが多いが、数値目標には結びつきづらいと感じる。人口減少社会のなか、地道な取組みが必要と考える。
- ・地元就労の観点からすれば、インターンシップの受入人数には市内事業所だけでなく、市役所で受け入れた人数も含めるべきではないか。
- ・地元企業の職場体験やPRは山形大学だけでなく、公益文化大学などの私学にも対象を広げて欲しい。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1%） C：基準時の数値を下回っている

project2 あのまちで暮らしてみたい！移住促進プロジェクト

数値目標（指標）		
指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R7年度)
移住世帯	70世帯	100世帯

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	/	/	/	/	100世帯
実績	87世帯	114世帯			
進捗状況	A	A			

総括	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税を通じた本市の魅力発信や花笠ラングラウフ大会などのイベント開催により、本市に関心を持つ人が増え尾花沢ファンの拡大につながった。 空き家バンクの運営や住宅、生活に関する助成金制度の活用により、安心して移住できる環境を整備できた。 スマート農業の研究支援やワーケーション環境の整備を行うことにより、新たな働き方に対応できる体制を構築できた。 <p>⇒本市の魅力発信や移住政策の効果が着実に顕れ、本市に興味関心を持ち移住してきた世帯が令和4年度は27世帯増加。令和7年度の目標値をすでに上回っている。</p> <p>⇒個人向けのふるさと納税など従来の移住施策に加え、企業版ふるさと納税の増加にも注力していく。市と企業が協働する新しい街づくりを推進し、移住世帯の更なる増加を目指す。</p>
----	---

尾花沢ファンの拡大

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)
1 体験ツアーの参加者数	定住応援課	45人	95人/年

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	/	/	/	/	95人/年
実績	45人/年	36人/年			
進捗状況	B	C			

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)
2 文化・スポーツ合宿の件数	社会教育課	1件/年	6件/年

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	/	/	/	/	6件/年
実績	1件/年	3件/年			
進捗状況	B	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【移住体験ツアー】市外の若年層に本市を知ってもらうため移住体験ツアーを開催。R4オンライン1回、対面2回。</p> <p>【ふるさと納税】ふるさと納税を通じた本市の魅力発信。R4寄付実績：1,010,877千円。（R3：789,277千円）</p> <p>【スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内施設を活用した合宿等を行う団体に対し助成金を支給。 数年ぶりに花笠ラングラウフ大会を開催。参加者114名。 <p>【イベント】本市ならではの冬の楽しみ方を市内外に対し国内外の人に提供するため、尾花沢雪まつりを開催。</p>
	取組みの効果	<p>【移住体験ツアー】市外の方に向けた本市の情報発信や体験機会の創出により魅力発信につながった。</p> <p>【ふるさと納税】ポータルサイト等を活用し効果的なPRができたため、10億円以上（昨年度比25%増）の寄附を受けた。尾花沢に関心を持つ人が増え、交流人口の拡大につながった。</p> <p>【スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成金を活用した合宿が3件あり、市内施設の利用促進と関係人口創出が図られた。 競技ではないクロスカントリースキー大会を通じて雪に親しむ機会を創出し、尾花沢ファンの拡大が図られた。 <p>【イベント】親雪活動の推進と冬の魅力発信により、本市への冬期間の観光客増加につながった。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【移住体験ツアー】〈課題〉本市の更なる知名度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> オンラインツアー体験をした人が、実際に本市に足を運んでくれるような策を検討する。また、オンライン開催の回数を増やし、対面の場合は魅力的なプログラムを組むなどしてツアー参加者の増加を目指す。 <p>【ふるさと納税】〈課題〉返礼品の確保と事業者の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトのコンテンツを更に充実し、より魅力的な情報発信をする。また、安定的な返礼品の在庫確保のため、返礼事業者の登録拡大と既存事業者の体制強化に取り組む。 <p>【スポーツ】〈課題〉合宿誘致数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用促進のため助成金支給を継続するとともに、制度周知活動に取り組む。 コロナ前の規模で開催できるよう対策を講じていく。 <p>【イベント】〈課題〉雪まつりの完全開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策を講じながらコロナ以前の規模での雪まつり開催を目指す。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

移住支援

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	空き家バンク登録件数	定住応援課	15件/年	20件/年	目標					20件/年
					実績	14件/年	16件/年			
					進捗状況	C	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【空き家】空き家バンク登録制度を運営し、空き家管理に悩む所有者と空き家を購入したい人とのマッチングを支援。R4登録戸数:16件、契約成立戸数:13戸</p> <p>【移住推進】移住世帯向けに米や味噌などを支給する事業や新庄最上ジモト大学の開催など、IJUターン支援事業を実施。また移住支援制度の周知、運営。</p> <p>【地域おこし協力隊】新たに地域おこし協力隊3名を受入れ、地域の賑わい創出の取り組みを実施。</p>
	取組みの効果	<p>【空き家】空き家管理の悩みを抱える所有者と空き家を購入したい買主とのマッチングを実現することで、本市に存在する空き家の利活用促進を図ることができた。</p> <p>【移住推進】移住者の受け入れ体制の構築、移住世帯への支援を充実により、移住者の確保につながった。</p> <p>【地域おこし協力隊】協力隊が地域に入り込んで精力的に活動したことで地域の賑わいづくりや、活性化に繋がった。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【空き家】〈課題〉空き家バンクの利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成約の取れない空き家の掲載見直しや売買成立が見込める価格設定を促すなど、より利活用しやすい空き家バンクにするための取組みを行う <p>【移住定住】〈課題〉県外移住者への制度周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの活用などにより県外の移住希望者に対する支援制度周知に積極的に取り組む。 <p>【地域おこし協力隊】〈課題〉移住者の増加と孤立防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き協力隊を募集しながら、定住に向けた支援を実施。また、隊員が活動しやすいようサポート体制を整える。

新しい働き方の提案

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	北村山GPS研究会加入農家数	農林課	1件	10件	目標					10件
					実績	6件	6件			
					進捗状況	A	A			

総括	本年度の取組み状況	【農業】すいか生産基盤の強化やスマート農業技術の導入に対して助成金を交付。R4実績:23件
	取組みの効果	【農業】すいか生産の担い手確保や条件整備の推進、スマート農業技術への理解促進が図られた。
	課題と今後の取組み	<p>【農業】〈課題〉スマート農業技術の普及と大型機械を導入するための面的整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業推進協議会でのデモによるスマート機器の周知と、スマート農業技術の市内ほ場での実証試験や課題検証で、中山間地域にあった技術活用、導入を加速する。 <p>【起業】〈課題〉創業・起業の機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域でのセミナーに参加しながら、本市での起業、創業に関心のある人の掘り起こしを行う。 ・各支援機関との連携を図りながら、創業支援体制の構築を目指す。 <p>【ワーケーション】〈課題〉ワーケーション環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳良湖自然研修センターの機能拡充を図るため、施設2階の空調設備の工事を行う。

委員からの意見

<ul style="list-style-type: none"> ・尾花沢市の魅力発信により移住世帯が増加し、R7年度目標を達成していることは素晴らしい。まだまだ伸びしろがあると推察する。 ・移住体験ツアーは実際に本市に足を運んでくれるような対策、魅力的なプログラムの構築によりツアー参加者の増加を目指して欲しい。 ・スポーツ合宿の誘致には宿泊施設の問題がある。他市町村とも連携した対応により件数の増加に努めて欲しい。 ・空き家バンク登録制度を活用したマッチング成約率81%は素晴らしい。母数の登録戸数の増加をめざすべく情報収集や制度の周知に期待する。 ・移住定住希望者に対するアプローチの手法や支援制度の拡充を期待する。 ・空き家バンクの登録件数が16件/年とあるが、登録すべき空き家はもっとありそう。 ・北村山GPS研究会の加入農家数は実績よりも少ないと思う。スマート農業のデモ会を開催しているので、行政側も興味を持って積極的に参加して欲しい。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1%） C：基準時の数値を下回っている

project 3 子育て日本一への挑戦！子育て応援プロジェクト

数値目標（指標）		
指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R7年度)
年少人口割合	9.59%	維持

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標					維持
実績	9.26%	8.82%			
進捗状況	B	C			

総括	<p>・婚活支援は、イベント開催など昨年度より積極的に活動できるようになったが、コロナ前の状態に戻るにはもう少し時間を要する。また、ABESAの閉館により子育て支援拠点の施設利用者数は減少してしまった。一方、代替施設の開所や出産子育て応援交付金事業など新たな子育て支援策の展開により、安心して子どもを産み育てられる環境が整えられた。</p> <p>・英語に触れる機会の充実や学校でのICT教育の推進などにより、新しい時代を牽引できる子どもの育成に注力。また、統合小学校建設に向けた動きが本格化し、本市の実態にあった教育環境の整備が進められている。</p> <p>・事業主行動計画策定企業への助成金制度の運用により、男女ともに働きやすい環境構築を推進できた。また、組織における女性役員の参画率が向上し、本市における女性活躍が推進された。</p> <p>⇒コロナの影響が軽減し、各施策は一定程度の効果が得られるようになってきているものの、出生数の減少に歯止めがかからず、昨年度より「年少人口割合」が減少している。</p> <p>⇒保育園のICT化を推進するなど、デジタル技術を活用しながら妊娠から子育て期まで切れ目ない支援を行い、子育て環境の更なる充実を図る。</p> <p>⇒対面でのマッチングを主とするLaLaネットの在り方を見直し、マッチングアプリなどのデジタル技術を活用した婚活支援も検討する。</p>
----	---

希望を叶える出産・子育て環境

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)
1 LaLaネット会員行動日数	社会教育課	375日/年	400日/年

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標					400日/年
実績	257日/年	316日/年			
進捗状況	C	C			

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)
2 地域子育て等拠点施設利用者数	福祉課	20,734人	22,000人

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標					22,000人
実績	6,106人	3,880人			
進捗状況	C	C			

総括	本年度の取組み状況	<p>【婚活】結婚相談員2名を配置し相談体制を強化。結婚相談会や婚活イベントを開催しLaLaネット会員の活動を支援。婚活イベント・セミナーは年4回開催。</p> <p>【子育て】R4.12から地域子育て支援センターをおもだか保育園園舎の一部を改修し移転開所。休日預かり事業も実施。</p> <p>【住宅】新婚世帯の住居費や引越費用に対し助成金を交付。R4実績:2件</p> <p>【医療】妊婦健診や子どもの医療費助成、予防接種費用等の助成を実施。R4から出産子育て応援交付金事業を実施。</p>
	取組みの効果	<p>【婚活】「LaLaネット」を中心に、市内外に広く出会いの場を提供することができた。</p> <p>【子育て】子どもの遊び場確保につながった。また、子育て世代の交流の場として機能している。</p> <p>【住宅】新婚世帯の新生活における経済負担が軽減され、安心して暮らせる環境の創出につながった。</p> <p>【医療】従来事業の継続によりこれまで通りの医療体制を維持できている。加えて、子育てに係る相談支援と経済支援を一体的に実施することで、安心して子育てできる環境の構築につながった。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【婚活】〈課題〉若年層の登録者数増加と活動機会の創出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加促進のため、婚活イベントの内容を精査し、若年層が参加しやすい仕組みを検討する。 ・県で運営するマッチングアプリを活用した支援も検討していく。 <p>【子育て】〈課題〉市内中心部の遊び場確保。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の遊び場について、地域子育て支援センターの設置場所や在り方も含め市の方針を整理する。 <p>【住宅】〈課題〉助成金活用世帯の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用要件が厳しく活用が進まないため、要件緩和を検討しながら取り組みを継続する。 <p>【医療】〈課題〉効果的に保健指導を行える体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施策展開により現場の負担が増加している。事務効率化や現体制の見直しを検討していく必要がある。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

最適・最新の教育環境

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	英語検定合格率	教育指導室	57%	80%	目標					80%
					実績	62%	58.3%			
					進捗状況	A	A			

総括	本年度の取組み状況	【英語教育】英語検定料の助成やイングリッシュキャンプの実施。ALT 3名配置。英検助成271人。R4イングリッシュキャンプ参加者:8人 【学校施設】尾花沢市小中学校建設検討委員会の開催、統合小学校建設工事プロポーザル、建設予定地の用地測量。 【ICT教育】ICT活用授業支援員1名を配置。
	取組みの効果	【英語教育】ALTとの交流などで英語に触れる機会を創出したことで、小中学生の英語と国際理解の促進が図られた。 【学校施設】尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画の策定により、当面の学校施設に関する方針が決定した。 【ICT教育】児童のタブレット活用など、学校の様々な場面で情報機器の活用が進み、ICT教育の充実が図られた。
	課題と今後の取組み	【英語教育】〈課題〉英語学力の向上。 ・ALTの配置やイングリッシュキャンプを継続し、英検合格率の向上を目指す。 【学校施設】〈課題〉統合小学校の令和9年度開校 ・統合小学校の令和9年度開校に向けた厳格なスケジュール管理に取り組む。 【ICT教育】〈課題〉情報活用能力の向上 ・ICT活用を活用する児童や教職員の能力向上と教育の質向上に取り組む。

男女がともに輝く地域づくり

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	事業主行動計画策定企業数	中央公民館	9社	15社	目標					15社
					実績	11社	12社			
					進捗状況	A	A			

重要業績評価指標 (KPI)		担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
5	審議会など女性委員の割合	中央公民館	8.90%	20%	目標					20%
					実績	21.30%	15.60%			
					進捗状況	A	A			

総括	本年度の取組み状況	【女性活躍】ワークライフバランス支援を実施している企業に対し奨励金を交付を継続。
	取組みの効果	【女性活躍】R4は1件の交付実績があり、子育てや介護、家庭生活と仕事を両立できる環境の構築に繋がっている。
	課題と今後の取組み	【女性活躍】〈課題〉市内各所におけるワークライフバランスの実現と女性活躍の推進 ・中央公民館と商工観光課で情報交換を行い、部署間の連携を強化しながら中小企業に取組拡大の周知活動を行う。 ・男女平等意識の浸透のため、広報活動や学習会を開催する。

委員からの意見

- ・マッチングアプリについて、昔ながらの仲人を通じた婚活に抵抗のある人もいると思うが、デジタル技術を活用しながら総括の通り取組みを進めてほしい。
- ・市内で婚活イベント開催してもあまり人が集まらないのではないかと。他市町村の取組みも参考にしたい。
- ・地域子育て等拠点施設利用者数はR7年度目標22,000人比、実績3,880人と乖離しているため、今後の方針を整理する必要がある。
- ・尾花沢市の福祉行政は他市町村よりも進んでいると思う。支援拠点の利用者が増えるように啓蒙してほしい。
- ・施設利用者数の考え方が、KPI設定当時とは施設の状況が変わっている。数字の扱い方を検討してほしい。
- ・おがーれに行く階段が急で入りにくい。利用しやすい工夫をしてほしい。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1%） C：基準時の数値を下回っている

project 4 生涯幸せ！健康長寿プロジェクト

数値目標（指標）		
指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R7年度)
健康寿命	男性79.60歳 女性82.20歳	延伸

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	/	/	/	/	延伸
実績	男性80.2 女性83.6	男性80.7 女性83.4			
進捗状況	A	A			

総括	<p>・タクシー券の交付やおばくらの運行により移動手段が確保され、高齢者の社会参画が促進された。また、地域づくり団体やボランティア団体への助成により地域活動が活性化し、地域のつながりを深めることができた。</p> <p>・スポーツ団体への助成や芸術文化イベントの開催により、スポーツ、芸術文化活動が活性化し、市民の生きがいづくりにつながった。</p> <p>・防災機器の導入や防災講座の開催により地域の防災体制が強化された。また、除雪ボランティアへの助成や道路除排雪体制の整備により、安心安全に暮らせるまちづくりを進めることができた。</p> <p>⇒地域とのつながり強化や生きがいづくり、安心して暮らせる環境の整備により、健康寿命の延伸につながった。昨年度同様、健康寿命は基準値より延伸している。</p> <p>⇒人口減少が進む中で、本市にあった移動手段の確保や地域のつながりを維持する施策展開により、更なる健康寿命の延伸に努める。</p>
----	---

つながりづくりと心身の健康増進

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)
1 地域づくりに関する視察研修などの開催回数	中央公民館	3回/年	6回/年

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	/	/	/	/	6回/年
実績	3回/年	2回/年			
進捗状況	B	C			

重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)
2 各地区「ふれあいいきいきサロン」開催数	福祉課	1回/年	3回/年

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	/	/	/	/	3回/年
実績	3回/年	3回/年			
進捗状況	A	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【社会参加】 交通弱者の移動手段確保のため、高齢者おもしろタクシー券と福祉タクシー券を交付。R4：高齢者1,152人、福祉32人。</p> <p>【ボランティア】 社会福祉協議会で実施する「ふれあいいきいきサロン」などの地域福祉推進事業に対し助成金交付。</p> <p>【健康増進】 市民主体の健康づくりを進めるため、定期的に健康教室や健康相談を実施。R4：健康教室参加者497名、健康相談340名。</p>
	取組みの効果	<p>【社会参加】 高齢者タクシー券は利用率65%と好評を得ており、高齢者の社会参加、生活圏の拡大につながった。</p> <p>【ボランティア】 地域ボランティアの育成、地域共助の意識醸成が図られ、地域福祉の向上につながった。</p> <p>【健康増進】 人口減少化においても健康相談の件数が変わらないことから、市民の健康意識向上につながっている。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【社会参加】 〈課題〉公共交通おばくらの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを利用したタクシー券の電子化に取り組み、利用者の利便性向上と管理の簡素を目指す。 ・福祉タクシー券の利用率が9.4%と低いと、これまで以上に広く制度周知に取り組む。 <p>【ボランティア】 〈課題〉福祉ネットワークの維持、協力員の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種助成金事業を継続するとともに、民生委員の負荷軽減の方法を検討する。 <p>【健康増進】 〈課題〉若年層の参加者増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくり意識が向上傾向にある一方、若年層の参加が少ないため、誰もが参加しやすい事業や周知方法を検討する。

数値目標・重要業績評価指標実績一覧

芸術文化・スポーツを通じた生きがいづくり

重要業績評価指標 (KPI)	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3 芸術文化活動の発表・鑑賞機会の提供	社会教育課	2回/年	3回/年					3回/年
				2回/年	3回/年			
				B	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【文化活動】芸術文化活動を行う個人や団体の発表機会を創出するため市民文化祭を開催した。また、例年の少年少女俳句大会のほか本年度は劇団の公演会も開催。</p> <p>【スポーツ】尾花沢市スポーツ協会所属団体が種目ごとに市民総体を開催するための補助金を交付。</p> <p>【地域振興】除雪共助団体への助成金交付など地域団体が地域振興のためにする活動に対して助成金を交付。R4除雪支援9件。</p>
	取組みの効果	<p>【文化活動】市民が芸術文化に触れる機会を増やすことができ、地域における芸術文化の輪を広げることができた。</p> <p>【スポーツ】各団体の活動を支援することで、活動内容の充実につながった。</p> <p>【地域振興】各集落において継続的な助成金活用があり、地域活動の活性化につながっている。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【文化活動】〈課題〉文化際の参加者拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の芸術文化の輪を更に広げるため、参加する団体や個人の拡大に向けた取組みを検討する。 <p>【スポーツ】〈課題〉多様化する競技への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体の費用助成を継続するとともに、多様化するスポーツの場と指導者確保の方法について検討する。 <p>【地域振興】〈課題〉地域づくり活動の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり活動を積極的にを行う団体の発掘と地域で活動するプレイヤーの育成策を検討する。

市民の生命を守る地域の安全対策

重要業績評価指標 (KPI)	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4 防災行政無線戸別受信機貸与数	防災危機管理課	80台	200台					200台
				80台	118台			
				B	A			

重要業績評価指標 (KPI)	担当課	基準値 (R元年)	目標 (R7年)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
5 防災出前講座の開催	防災危機管理課	1回/年	5回/年					5回/年
				13回/年	5回/年			
				A	A			

総括	本年度の取組み状況	<p>【防災】危険エリアに暮らす世帯に対し、戸別受信機を貸与する事業を実施。自主防災組織リーダー研修会や防災出前講座を実施。また、防災資機材の購入費助成を実施。R4実績15件。</p> <p>【要援護者】災害時、要援護者が安全に避難できる体制を構築するため、要援護者台帳を整備。</p> <p>【除排雪】冬の安全な道路交通を確保するため、市道等の除排雪業務を委託。</p> <p>【除雪ボランティア】社会福祉協議会が運営する除雪ボランティアセンターの事業に対し補助金を交付。</p>
	取組みの効果	<p>【防災】災害時の情報を迅速かつ的確に伝える方法の確立により、災害体制の強化が図られた。市民の防災意識の醸成と自主防災力の向上につながった。防災資機材の購入・配備が促され、地域防災力の強化につながった。</p> <p>【要援護者】非常時における要援護者の不安が軽減された。災害発生時の支援体制強化につながった。</p> <p>【除排雪】市内全域の道路除排雪体制が整い、降雪期においても市民が安心して暮らせるまちづくりにつながった。</p> <p>【除雪ボランティア】地域のボランティア育成、共助の意識の醸成に寄与している。</p>
	課題と今後の取組み	<p>【防災】〈課題〉地域間の格差解消</p> <ul style="list-style-type: none"> 資機材が揃っている地区とそうでない地区がある。資機材購入助成制度の周知拡大により、防災力の地域間格差を正に取り組む。 <p>【要援護者】〈課題〉災害時の支援体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉部門と防災部門で、要援護者宅の所在や世帯員数などの情報を共有できるシステムを導入し、災害時に迅速な対応ができるよう支援体制を強化する。 <p>【除排雪】〈課題〉除排雪委託料の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 労務単価、原油価格の高騰により委託料が増加しているため、財源確保に向けた積極的な要望活動に取り組む。 <p>【除雪ボランティア】ボランティア活動の担い手が不足しているため、積極的な周知広報など募集活動を行う。</p>

委員からの意見

・防災力の地域間格差の是正には積極的に取り組んでほしい。
